



# 知っているようで知らない、お隣りの県の魅力は？

## 栃木県データ

- 面積 6408.268km<sup>2</sup>
- 人口 201万7322人 (平成22年10月1日現在)
- 県の木 トチノキ
- 県の花 ヤシオツツジ
- 県の鳥 オオルリ
- 県庁所在地 宇都宮市
- 栃木県の魅力「やすらぎの栃木路」

## 宇都宮市データ

- 面積 416.84km<sup>2</sup>
- 人口 51万6999人 (平成22年11月1日現在)
- 市の木 イチヨウ
- 市の花 サツキ
- 公式サイト <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

## 茨城県データ

- 面積 6066.666km<sup>2</sup>
- 人口 296万7404人 (平成22年10月1日現在)
- 県の木 ウメ
- 県の花 バラ
- 県の鳥 ヒバリ
- 県庁所在地 水戸市
- 茨城県の魅力「歴史・自然・文化が香る黄門さまのふるさと、うばひき」

## 水戸市データ

- 面積 217.43km<sup>2</sup>
- 人口 26万9346人 (平成22年9月1日現在)
- 市の木 ウメ
- 市の花 ハギ
- 公式サイト <http://www.city.mito.lg.jp/>

## 群馬県データ

- 面積 6366.16km<sup>2</sup>
- 人口 200万7千人 (平成22年10月1日現在)
- 県の木 クロマツ
- 県の花 レンゲツツジ
- 県の鳥 ヤマドリ
- 県庁所在地 前橋市
- 群馬県の魅力「心こぐぐぐ群馬県」

## 前橋市データ

- 面積 311.64km<sup>2</sup>
- 人口 33万8098人 (平成22年9月1日現在)
- 市の木 ケヤキ、イチヨウ
- 市の花 バラ、ツツジ
- 公式サイト <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

※参考資料 各自治体公式サイト、「北関東スタイル」(北関東三県広域観光推進協議会発行)



宇都宮商工会議所会頭 北村光弘

# 「地域づくりの魅力作りをしっかりと行っていくことで、北関東道を活性化の起爆剤に」

北関東道の計画は、もともとは第四次全国総合開発計画(四全総)から生まれたものです。四全総は昭和62(1987)年策定ですから、約24年、四半世紀をかけてようやく実現した道路だと言えます。

栃木県にとっては、他県との広域交流を言う前に、まず県南地域と県央・県北地域が繋がることが、大きなメリットだと思います。従来、宇都宮市と足利市や佐野市とは、実際の距離以上に遠隔感があったのではないのでしょうか。特に足利市は、宇都宮市との移動時間に

とりわけ観光面では、単県単位で行うより、広域で行う方が、例えば東京などの大都市やアジア諸国からの観光客誘致には、メリットが大きいです。地域内には茨城空港・常陸那珂港といった交通物流拠点施設があり、また群馬県から関越道につなげば新潟港、隣接する福島県には福島空港があります。その意味で北関東3県連携によって生み出されるパワーは、大変重要ではないでしょうか。

このままでの高速道路網は、基本的には東京と地方とを結ぶものでした。東日本においては、すべての交通が東京へ集中していたと言っても過言ではありません。もちろん、高度成長期の日本経済には、そういう交通網が求められていたのだと思います。しかし現在は、縦も重要だが横はそれ以上に重要な時代になりつつあるのではないのでしょうか。そういう時期に、北関東道が全線開通することは、大変大きな意義があることだと思います。

北関東3県が、この全線開通を機に連携を深めることで、全体として知名度を上げて行くには、どうしたらいいのでしょうか。私は、それには地域それぞれが自分

の特色を把握し、より高めることが第二であり、県同士地域同士が切磋琢磨して成長し合うことが第二、そして3県連携による他地域との競争が第三と考えています。宇都宮には、近年「餃子」「カクテル」「ジャズ」などの地域ならではの特色が、いくつも出てきました。また統一ブランド「雷都物語」も年月を重ね、地域のお土産品として安定した知名度を誇っています。これらをさらにリファインするとともに、新たな観光・産業の資源を開発する努力を、今後も続けて行かなくてはならないと思っています。

他県から栃木県に来た方は、よく「こんなにもいいところがあるのに、栃木県の人にはあまり注目しませんね」とおっしゃいます。私たちににとっては当たり前のものでも、別の視線からは大変すばらしく見えるものも、多いのです。そういった「外からの視線」をできるだけ活用することも求められています。ここでも、きつと北関東道の全線開通が、プラスに働くのではないのでしょうか。



35年の歴史を持つ、宇都宮の夏の風物詩「ふるさと宮まつり」。昨年は2日間の観客数が55万人を数えました

北関東道が全線開通すると、栃木県の中にあったこうした分断が解消し、県内の地域間交流が促進されると期待できます。特に観光面では、県内全域をつなぐ広域観光が可能になります。

県内の交流から3県の連携、さらには北関東と他地域との交流へ、大きな期待を抱いてい

# 「広い視野・思考で、地域間連携を促進することが、キーポイント」

水戸商工会議所会頭 和田 祐之介



4月に、茨城県の地方銀行である常陽銀行が、栃木県で商談会を開催する予定です。北関東道ができたことで、こうした「民間企業による地域間交流」が促進され始めているようです。地域連携は、本来は民間がもつていっていきべきもの。北関東道はそのビジネスチャンスを作ってくれたいと思います。

北関東3県は、地理的には似ているところが多いと感じています。もちろんそれぞれ特色はありますが、いずれも自然が豊かで、農業・工業ともに発達し、観光資源にも恵まれています。ですから、3県がさまざまな連携を行うことで、大きな効果を発揮することが可能ではないでしょうか。そのインフラとして、北関東道が力を発揮してくれるものと期待しています。

また、茨城県内での常磐道への接続や、常陸那珂港・茨城空港といった拠点施設への連絡なども、私どもにとっては「物流の入り口であり、出口」という特色を生み出してくれそうです。ですから、県内経済界が期待する度合いも、大きなものがあります。

茨城県は、県北が日立市・ひたちなか市を中心とした工業地域、県南がつくば市を中心とした先端技術研究地域です。また県西は農作物を首都圏などに提供している農業地域であり、県央には水戸市内の偕楽園、弘道館に代表される歴史文化施設が観光拠点となっています。このようにさまざまな要素が、重なり合っている。「茨城県」という地域を構成しています。ですから地域間交流を促進すれば、大きな恩恵を受けることができるでしょう。そこで私どもでは今年度に「地域間交流委員会」を設立し、積極的に他地域と交流を図っていきます。

茨城県は、江戸時代に有名な徳川光圀公や斉昭公などの名君が、学問を奨励したこと、幕末には広い視野を持った思想家を輩出しました。こうした文化風土は今でも色濃く残っていると思います。ただ残念ながら、昨今は水戸、宇都宮、前橋といった「点」でとらえるのではなく、「線」

「面」といった広域・グローバルな考え方ができる人が、少なくなっています。ですから北関東道の開通を契機に、できれば若い人の中から、狭い地域に収まらない広域的思考ができて、行動力のある人材に登場してほしいと思います。商工会議所としてもそういった方をできるだけ支援したいと考えています。

また、水戸のイメージをさらにアップするために、土産物の統一ブランド作りなどにも取り組んでいます。また水戸と言えば偕楽園ですので、梅にちなんだ土産品の商品開発も進めているところです。



梅が満開の偕楽園(水戸市)。2月20日～3月31日は「水戸の梅まつり」を開催

ようやくできたインフラですから、ぜひもっと広く活用していきたいと思っています。商工会議所間の連携も、これを契機に図っていかねばなりません。

私ども商工会議所でも観光には力を注いでいます。その上で、他県には無い特色を打ち出して行きたいと思っています。例えば「医療」「健康」をキーワードとした観光ですね。群馬県内には数多くの温泉があり、医療連携観光に適しています。さらに、昨年から群馬大学医学部附属病院に、ガンを切らずに治す先進医療「小型重粒子線治療」が始まりました。これは病院併設としては、日本で初めてです。さまざまなガン治療に対応した「総本山」として、多くの方に来ていただける特色を生み出すことができるのではないのでしょうか。

そういう意味で、群馬DCの年に北関東道が全線開通するのは、非常にうれし

各地域が東京にばかり向いてしまうという弊害も、あったと思います。それに対して北関東道のような「横型」の高速道路が登場することは、新たな経済文化のスタイルの創造にも繋がるのではないのでしょうか。

北関東道は関越道や上信越道へと繋がっており、これにより東京を通ることなく北海道から九州まで高速ネットワークが繋がります。このことは3県にとつて大きなメリットになるでしょう。さらには、北関東と他地域の広域的な連携も、これまで以上に盛んになるでしょう。

このことを契機に北関東道全線開通によるメリットを生かし、ビジネスチャンスを広げることが重要ではないのでしょうか。

当商工会議所では、広報広聴活動や会員企業ニーズの把握、経営支援などを事業の柱としています。特に経営支援では、金融支援も重要ですが、事業経営のあり方などについても、積極的な支援をしています。今回の全線開通を起爆剤に、一層きめ細かな支援を行いたいと考えています。

栃木県、茨城県でも、すでにその地域の特色を生かした観光戦略を行っておられると思います。そうした、各県の特色を横に貫いて結びつける北関東道の全線開通は、実にうれしいことですね。

従来の高速道路は、ほとんどが東京と地方を結ぶ「縦型」のものでした。確かにその恩恵は大きなものでしたが、逆に



前橋公園からグリーンドーム前橋を望む。前橋の桜の名所の一つ

群馬県は今年の7月から9月に、JRグループ6社と県および市町村が取り組む、群馬デスティネーション・キャンペーン(DC)が行われま

す。その「東国」遺跡も多くあり、歴史面でも魅力的な地域です。ぜひより広く皆様においでいただけたらと考えています。

前橋商工会議所会頭 曾我 孝之



# 「北関東道というインフラを生かし、群馬の魅力発信と広域交流を」